

目的 わが国において木綿が伝来普及する以前に用いられた麻布・葛布・藤布などの織布について、「日本在来織布の研究」と題して調査研究を行い、報告を行ってきた。しかし、太平洋に面して位置するわが国の生活文化は、ひろく太平洋地域の中で比較研究を行うことが必要と感じたので、地域を拡大して調査を行い、昨年は太平洋の東側アメリカ合衆国南西部とメキシコにおける繊維利用の調査報告を行った。

方法 今回は九州南部から琉球列島、東南アジアから南太平洋にかけてつながる地域の調査報告である。

結果 南日本において、近年まで縄・綱などの用途とされてきた樹木の繊維を用いた衣服が残存しているが、これによって、木綿以前の繊維利用にもいくつかの段階のあることが認められる。それにより、繊維利用の発展の方向とその現存衣服について報告を行う。